

大会名 Competition	第23回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-103	Year Month Day Time 2010 年 5 月 3 日 12 : 00
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B					
興南高校	<table border="1"> <tr><td>25 1st 28</td></tr> <tr><td>26 2nd 23</td></tr> <tr><td>22 3rd 20</td></tr> <tr><td>19 4th 34</td></tr> <tr><td>OT</td></tr> </table>	25 1st 28	26 2nd 23	22 3rd 20	19 4th 34	OT	安城学園
25 1st 28							
26 2nd 23							
22 3rd 20							
19 4th 34							
OT							
92 ●		105 ○					

主審:Referee 小澤 勤 山梨県
副審:Umpire 升屋 章 秋田県

テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能 代

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	比嘉 卓斗	CAP	9	0	4	1	2	4	/	石井 駿	CAP	0	0	0	0	0
5		三宅 力		-	-	-	-	0	5	×	篠塚 健		34	2	9	10	2
6	×	伊集 貴也		33	6	7	1	2	6	×	木戸 雄祐		22	5	3	1	3
7	×	平得 文士		0	0	0	0	4	7	/	壁谷 僚太		12	0	4	4	1
8	/	渡口 崇秋		6	0	3	0	5	8	/	橋爪 大貴		6	2	0	0	0
9		友寄 邦人		-	-	-	-	0	9	/	櫻井 悠斗		3	0	1	1	1
10		屋我 貴秀		-	-	-	-	0	10	/	金澤 優		0	0	0	0	0
11	×	上原 大輝		25	3	8	0	5	11	×	神谷 健斗		13	3	2	0	1
12		寄川 龍功		-	-	-	-	0	12		百武 遥希		-	-	-	-	0
13	×	嘉数 潤也		2	0	1	0	1	13	×	木全 勇人		6	0	2	2	2
14	/	鈴木 裕也		12	0	6	0	4	14	×	藤井 京夢		9	0	3	3	1
15		仲村 兼太		-	-	-	-	0	15		原田 京典		-	-	-	-	0
16		島袋 大輔		-	-	-	-	0	16		下萩 俊希		-	-	-	-	0
17		仲西 智彦		-	-	-	-	0	17		遠藤 廣紀		-	-	-	-	0
18	/	満島 光太郎		5	0	2	1	3	18		山田 将也		-	-	-	-	0
コーチ		井上 公男							コーチ		金子 寛治						
Aコーチ		狩俣 暢史							Aコーチ		前田 浩行						
合 計				92	9	31	3	26	合 計				105	12	24	21	11

※ ×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P* イントシュート 2P:2P* イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

試合開始から2-2-1プレスでプレッシャーをかける安城学園に対し、興南はハーフコートのマンツーマンディフェンスで対抗。序盤、初戦の堅さからかシュートが決まらない安城学園に対し、興南は#11上原が続げざまにジャンプシュートを決め先行する。安城学園は#6木戸の3Pが決まると徐々に足が動き始め、#11神谷の3P、#14藤井の2本のフリースローで13-14と逆転に成功。残り3分で安城学園はタイムアウトを請求、そこから#6木戸、#11神谷の3P、更にはゴール下のプレイが決まりリードを広げる。安城学園が主導権を握るかに見えたが、興南も#6伊集がブザービーターの3Pを沈め、興南25-28安城学園で第1ピリオドを終了。

第2ピリオド開始早々、興南は#7平得が4つめのファウルとなり苦しくなる。興南の攻撃がやや単調になった隙に安城学園は持ち前の速い展開から#6木戸が3Pを決め、開始3分で27-37とリードを奪う。安城学園ペースで試合が進むが、興南は#11上原の3Pが決まると、粘り強いディフェンスからスティールを連発。終了間際に#8渡口の速攻が決まり、51-51の同点として第2ピリオドを終える。

第3ピリオド、興南は立て続けに速攻を決め、開始3分で59-51と突き放しにかかる。安城学園は#5篠塚のカットインや#6木戸の3Pでピンチをしのぐと、興南はファウルがかさんで苦しくなり、試合の流れは再び安城学園に傾く。#5篠塚がポストプレイでファウルを誘い、確実にフリースローを沈めて追撃。興南73-71安城学園で第3ピリオドが終了。

第4ピリオド、安城学園は1-2-1-1のゾーンプレスを仕掛け勝負に出る。激しいディフェンスからアップテンポな展開に持ち込んだ安城学園は瞬く間に逆転に成功、#5篠塚、#7壁谷らがインサイドで存在感を発揮、開始3分で78-86とリードを広げる。たまた興南はタイムアウトを請求、そこから#6伊集の3Pなどで何とか食い下がろうとするが、#11神谷、#8渡口らがファウルアウト、一度失った試合の流れを取り戻すことができない。安城学園はここぞとばかりに得意の速攻を繰り出し、終了間際には#8橋爪が連続3Pを沈め勝負を決めた。実力の拮抗したチーム同士の対戦で白熱したシーソーゲームとなったが、終始多彩なディフェンスで相手を揺さぶり続けた安城学園が粘る興南を押し切り、幸先のよいスタートを切った。